

# 石巻元気祭り

8/8  
2011  
創刊号

0円

ご自由にお持ち  
帰りください

特集 「がれき」で作った復興神輿 誕生物語

ふくふく福幸商店街  
今回のボラっこ  
今回のボラ友  
伝言板  
編集後記

<http://www.saigaishien.jp/> twitter:OTR\_saigaishien



全力復興。

いしのまきげんきまつり

# 石巻元気祭り

心の音楽祭

ガレキみこし演舞  
有名アーティストによるライブ  
復興を果たした東北のお店多数出店

元気・和・安らぎをテーマに開催します。  
「東北の現状を知る・お買い物をする」ならまずはココ！  
音楽、祭りを通して沢山のひとと交流しよう。

2011.9.11 開催！

日程：2011年9月11日 日曜日  
時間：午前9:00 開場  
場所：石巻運動公園（旧・自衛隊倉庫）  
主催：NPO法人 ON THE ROAD  
共催：※募集中 後援：※募集中

お問い合わせ：  
元気祭り実行委員会  
MAIL：genki.matsuri.otr@gmail.com  
TEL：090-4003-0439 担当 富田  
NPO法人 ON THE ROAD ホームページ  
<http://www.saigaishien.jp/>  
詳しくは次号（8/22号）掲載





こんにちは、NPO法人オンザロードです。

オンザロードは、4月8日から石巻市渡波地区を中心に、

家屋の瓦礫出し、側溝掃除、炊き出し、仮設住宅への引越、仮設風呂の運営、

ヘアカットやマッサージ、店舗再生など、様々な災害支援活動を行ってきました。

地域交流も積極的に行い、地元の方々と一緒に今まで活動してきました。

今回はひとりでも多くの方の笑顔を増やすため、明るい話題を提供したいと思い創刊しました。

皆様の意見に耳を傾け、二週間に一度発行していきますので宜しくお願いします。

ワッショイ！

編集長 岩田 昇太



## 特集

### 「がれき」で作った復興神輿 誕生物語

六月二六日、来場者約5000人を記録した「渡波元氣祭」。  
この祭りで感動を呼んだ「がれき」で作った  
復興神輿の誕生物語をご紹介します。

## 目次

特集 「がれき」で作った復興神輿 誕生物語 \_\_\_\_\_ p2-6

ふくふく福幸商店街 \_\_\_\_\_ p7-8

今回のボラっこ \_\_\_\_\_ p9

今回のボラ友 \_\_\_\_\_ p9

伝言板 \_\_\_\_\_ p10

編集後記 \_\_\_\_\_ p10



六月初旬、オンザロードの会議で毎日のように上がった話題。六月末で活動は一時休止だが、残り一ヶ月の活動で何ができるのかということ。何か渡波の方々と元気が湧いてくるようなことがしたいと、メンバーの心の中ではその「何か」探しが始まりました。

そんな中、誰かが言った「祭」という一言。すると、溢れ出てくる祭のイメージに、メンバー全員の心は同じ方向を向きました。そうして「がれき」で作った神輿というひとつの答えにたどり着いたのです。

震災当初から家屋の泥出し、沿道に放置されていたがれきを集積所へ運搬、そして側溝掃除と、求められていることは刻々と変化していきました。道路を片付けた集大成として綺麗になった道で神輿を担ぎたいと本気で思うようになりました。

皆の気持ちを乗せて、いま復興がれき神輿の物語がはじまります。





6月10

発見、秘密工場！

動き出した神輿製作。まずは、神輿を作る秘密工場探しから。

神輿に対する熱い想いがあれば、自然と物事はうまくいく。偶然が偶然をよび、人と人が繋がって、素敵な工場を見つけてることができました。夢は大きく、マグロ釣りの漁船くらいに大きな神輿でも作りますか。

ここは、津波の被害を受けた住宅街にポツリとある僕らの秘密の神輿工場。工場の中ではコンコン、カンカンと、作業の音が響き渡ります。耳を澄ませば、「ワッショイ、ワッショイ」と今にも祭りの音が聞こえてきそうです。

6月17

設計図は頭の中

組み立て始めれば、実に早い！感性の赴くままに、オンザロードの神輿大工は、ガンガンと製作を進めて行きます。御堂に屋根を張り、あつという間に裝飾に取り掛かります。ホタテの殻に穴を開け、何かを作る神輿大工。設計図は頭の中。最後まで、何ができるかわからないのがオンザロード流。

6月20

職人のこだわり

そして、神輿製作も裝飾の段階に。漁具や生活雑貨、空き缶、CD、自転車のハンドル、様々なものを利用して御堂を裝飾していきます。御堂の上に乗せる鳳凰は、神輿大工のこだわり。数日間探し続け偶然見つかったそのハクセイは、神輿の裝飾を引き締めるようにそつと鎮座します。

木でできた御堂は、次第に神々しき、力強さを身に纏って神輿へと変わっていきます。



6月11

がれきは思い出の宝物

まずは神輿製作に必要な資材を拾ってきます。全部「がれき」？いえいえ、全部「宝物」。

津波で流されるまでは、一つひとつに沢山の人の思い出が詰まった、大事な宝物。丸太、太鼓、ロープにCD、ホタテまで、神輿の裝飾に使えるようなものは、持ち主に確認してから工場へ。

6月13

神の鎮座する御堂

ここで少し、「神輿」の説明を。神輿とは、簡単にいうと「小さな動く神社」のこと。神様を乗せてワッショイ、ワッショイと町を練り歩き、町の隅々まで運氣・縁起をあげてくれる。神輿の作りは神社に似ていて、鳥居があり、御堂があり、御堂の中には御神体がどっしりと鎮座しています。まずは、御堂から作りますが、がちり組まないと大きな揺れに耐えられません。オンザロードの神輿大工は、正確無比にスパッと木を切り、たくみに御堂を組んでいきます。

6月25

神輿、ついに完成

そして、祭りの前日に見事4基の神輿が完成しました。大人が担ぐ神輿2基、子供神輿と山車がひとつずつ。

地元の子供のご希望で、大人の神輿の御神体にはキョロちゃん(チョコボール)と、鉄鍋で出来た人型神様を乗せました。世界の数ある神様の中で、この神様たちが一番かわいい。神様に愛着が沸くから、担ぎ手の気持ちも自然に入ります。威風堂々、見る者を吸い寄せるような魅力を持った自慢の神輿に仕上がりました。皆、大満足の出来栄です。あっぱれ！







6月26

出陣

天気は雨。開場ギリギリで神輿の組み立てが完了し、準備は整いました。司会の挨拶と共に、祭もスタート。今回の神輿の順路は渡波小学校↓黄金浜会館↓渡波小学校を巡る約2キロ。各所で休憩をとりながら、一日かけて渡波を練り歩きます。

皆、神輿の周りに集まり気持ちを一つにすると、呼吸を合わせて持ち上げます。「サー、サー、サー、サー」の号令が掛かると「オイサ、ソリヤ、オイサ、ソリヤ。」と皆の活気溢れる掛け声が始まります。そして、力強く神輿が進み始め、渡波の町へと練り出していきます。

沿道には、玄関から出て声援を送ってくれているお父さん、お母さん。手を叩いてくれるおじいちゃん、おばあちゃん。たくさんの方の思いが込められた神輿はぐるっと渡波をまわり、ゴールの渡波小学校に向かいます。どこからか、「神輿が帰ってきたぞー」という声が響くと、一斉に皆集まり、拍手で神輿を迎え入れます。そのまま祭の熱気は急上昇していきます。

自分たちで神輿を作って祭をするとは、4月に石巻に来たときには全く想像していませんでした。今、神輿が担げるということへの感謝の気持ちを込めて、神輿を運動場の中央へ。

「カン！カン！カン！カン！」  
バチの合図。肩に乗せていた神輿を馬の上にそっと置きます。掛け声の余韻は、全員の呼吸を一つに繋ぎ止めたまま。静かで神聖な間がそこにありました。

三本締め。神輿の終わりとともに、担ぎ手達の思いが会場に広がり、一同が感動の渦に包まれました。鳴り止まない拍手に、祭はこの時最高潮を迎えます。キョロちゃん御堂の中から、その様子を笑顔で眺めていました。

このがれき神輿ですが、渡波元気祭の後、川開き祭にも参加させて頂きました。今後も、石巻及び全国各所の祭に参加予定ですので、今後とも宜しくお願致します。



# ふくふく 福幸商店街

～オンザロードとともに復興した店たち～



chubasco のスニーカー



津波被害商品は1円ワゴンで



宮城県石巻市立町 2-6-26  
TEL 0225-93-9663  
営業時間 11:00-19:00  
休業 不定休  
<http://www.raider-s.com/>



石ノ森章太郎も愛した餃子



看板メニューのラーメン



宮城県石巻市立町 1-3-30 1F  
TEL 0225-93-1724  
営業時間 18:00-翌 2:00  
休業 不定休



「職人の喜び、  
もう一度味わいたくないかい？」

がれきの山を目の前に誰もが為すすべ  
なく立ちすくむなか、たったひとりせつ  
せとがれき出しをする男の背中があつ  
た。その背中を見て手を差し伸べない者  
などいなかった。そうして昭和の日本を  
支えた親父たちの集い場、時代屋は見事  
復活を遂げたのだ。

「二軒だけこんなだったら大変だよ。で  
もどこ見てもみんなそうだからね、恐ろ  
しいけどなんか笑ってられるのよね。い  
つまでもしよぼくられてらんないもん。と  
にかく再開しなきゃっていう思い、それ  
だけだったと思うよ。」

昭和の親父の店にける熱い思い。そ  
の熱は多くの人の心も熱くし、自然に人  
が集まっていた。

「おれたち職人さんと同じだからね。自  
分の体を元に戻したくないかって言いた  
いね。鍋をふる時のお金に代えられない  
喜び、もう一度それを味わいたくない  
かって。何か方法はある。だからまずは  
火をおこせて。」

どんな時でも夢を忘れなかった者に、  
道は開かれるのかもしれない。

「若いやつが立ちあがねえと！」

震災後まだまだシャッターの上からな  
い商店街の中で、いち早く営業を再開し  
たファッションブランド・レイダース。  
商品の多くを津波によって失いながら、  
今も変わらず前進し続けている。オー  
ナーの鈴木氏は若い勢いが今こそ必要だ  
という。

「今までの経験でこういう商品が売れる  
とかそういうんじゃないやねんすよ。まさ  
らな連中がこういうのがおもしろいん  
じゃねえかってやる店の方がおもしろく  
ねえっすか。若いやつは失敗するチャン  
スもあるし、好きなことを好きなように  
やってれば意外とはずしても笑ってすま  
せられるからさ。」

その言葉からは津波の影を微塵も感じ  
させない強さがある。

「今の子供がこの町に夢を持つためには、  
今の経営者が夢を持たないとだめだ。商  
売人が商売を、一人ひとりが自分の仕事  
をがんばっていけば、自然に復興する  
と思うんすよね。」

「勝負しすぎず、それぞれが自分の使  
命を全うする。それが復興への近道なの  
かもしれない。」



# 伝言板

趣味の教室で手芸や木工を  
教えてくれる先生を募集中

日曜大工から本格大工まで、  
お手伝いしてくれる職人募集中  
(募集技能：大工、左官、塗装)

復興神輿の担ぎ手を募集中  
出演予定日  
8月14日、9月11日、9月25日

詳細はこちらまで  
担当 岩田昇太  
e-mail genki.dayori@gmail.com  
tel 080-3385-1757

ご意見・ご感想お待ちしております。

genki.dayori@gmail.com  
〒989-4305  
宮城県大崎市田尻小塩字八つ沢37-1  
さくらの湯右手奥芝生前ポスト  
NPO法人オンザロードフリーペーパー  
編集部 岩田昇太宛

## 編集後記

初めまして、初心者編集長です。「石巻にフリーペーパーがあったら楽しいだらうな。」と思い、6月末にひとりで動き出しました。7月末で、出来上がっているページ0枚。知識もゼロ。創刊まで辿り着いたのが奇跡です。みなさんに多謝。

発行日 平成23年8月8日  
発行元 NPO法人オンザロード  
<http://www.ontheroad.me/>  
編集長 岩田昇太  
副編集長 清矢陽子  
写真 平井慶祐

オンザロードのメンバー紹介

## 今回のボラっこ



名前

塚之内 功也

役職

村長 (ビレッジリーダー)

生年月日

9531210 年齢 32

出身

鹿島島

仕事

しよどう家

趣味

かきかきする:全部

ひとこと

3人娘のパパです。復興地で4人目の赤ちゃんが宿ります!

ともに活動する他団体の紹介

## 今回のボラ友

め組 JAPAN  
(NPO法人メイクザヘブン)

震災直後に石巻に入り、湊地区を中心に多様な支援をさせていただいている、め组たい日本復興チーム『め組 JAPAN』です!

救援の必要性からボランティアの募集を開始し、避難所の調査、救援物資の配達、泥出しなどの復興活動を行ってきました。

現在では救援活動から、子供たちや住民の方のこころのケア、寄り添い活動(復興支援)へと移行しています。主に学習支援、子どもの遊び場づくり、ひまわりなどの植物を通しての個別訪問(お茶っ子)・モノづくりを通しての自立支援も行っております。

福島県にはめ組支部が誕生し、放射能の数値を下げる活動や福島のことも私たちの一時避難や疎開のプロジェクトも開始しております。

め組 JAPAN では、め组たい世の中を創るため、これからも希望の種まき活動を行っていきます。

